

二中の木

学校報
第16号
H28/01/14



能代市立
能代第二中学校
TEL52-5138

◇中学校生活、学年まとめのステージ 成長を確かなものにするために

意識してもらいたいこと

二中の校訓を知らない二中生はいません。では具体的に自主、不屈、友愛とは何を言い表しているのでしょうか。これは、以前話した内容です。

『自主、不屈、友愛』

- 自主とは、
自らを鍛え、志を打ち立てようとする事。
- 不屈とは、
課題に気付き、乗り越えようとする事。
- 友愛とは、
仲間とのかかわりに幸いを感じ、自ら役に立つとすること。

校訓「自主、不屈、友愛」の精神は、この二中を愛し、自らを高めようとする

達成あつての志

結果が出ないまま努力を続けることは、大人である私にとってもすごく難しいことです。努力したことが結果となって表れたなら、これ以上にもういいことはありません。努力を継続していく助けになります。いきなり高い目標を設定せず、やや低めかな？くらい目標や、達成の可能性が高い志を設定します。まずは、達成の成就感を味わい経験することです。その経験を次の高い目標や志の達成に生かしましょう。「成し遂げる」ことがより高い志を打ち立てるきっかけになります。しかし、いつまでも低い目標や志では向上のための「鍛える」にはつながらないことを確認しましょうね。

「不屈」

課題を乗り越えるということ

例えば、学習に関する努力を必要とする点、つまりは課題について考えて見ましょう。



「二中の木第12号」で、昨年より向上しています。進んで発言する生徒の率は43%で半数に届いていないことを紹介しました。これなどは、二中全体の課題であるとも考えられます。今年度、二中を訪問していただいた方々からは、「生徒の授業の表情に生き生きしたものを感ずる、本

来の二中生らしく堂々と自分の考えを話せるようになってきたことが嬉しい」といった評価をもらいました。しかし、進んで発言する生徒をもっと増やしたいと思えます。同じく、第12号でグループなどでの話し合い、まとめ、発表の授業が好きな生徒がなかなか増えないことも気掛かりです。

聞くポイントを持って

先生からの問いかけだけでなく、友達の考えや発表にも真剣に自分の考えを持つとうとしていますか？



- 友達の考えの良さを見つける。
- 考えの違いを見つける。
- 色々な考えを自分なりに整理してみる。
- 疑問点を見つける。等

より多くの友達の考えを真剣に聞き、意見を言う、その中から自分の考えをまとめていくことが大切。聞いたり、考えたり、話したりする時のポイントを書いてみました。グループ学習が苦手だ、発言に消極的なことが自分の課題だと思う人の参考になると嬉しいです。学習を例に取りましたが、生活習慣、部活、様々な人間関係等々でつまずいて元気をなくしてしまっている人はいませんか？乗り越えるためのポイントがいくつかありそうです。

その一 本気で課題だと思いませんか？

本気で課題だと思えば人だけが解決のスタートラインに立っているのです。これまでも努力してみたがなかなか出口が見つかからない、この課題が解決できたらさらに自分を向上させるきっかけになる、自分の課題を乗り越えることで仲間も学級もさらによくになれる等は、心から解決したいと願う「本気」を示しているような気がします。

「解決」を最初から人まかせにする、やる前からできなかつた時の理由を探す、いつまでに行けるようにするといった時間の制限をあいまいにしている等では、解決からは遠い気がします。

その二 人の助けをもっと借りよう！

本気で自分の課題を課題と感じている人であれば、人に頼ったから解決を人任せにしたということには決してなりません。まったく自分なりの努力をしてみなかつた場合とは、スタートラインが違うのですから。



ところで、広く学校生活のことで、学級担任の先生と、学習のことで、教科担任の先生と、内容によっては皆さんが選ぶ先生と面談する機会があります。

面談期間が設定されているから他の期間は面談ができないと言ったことはありません。いつでも、どの先生とでも面談ができます。先生方は、「教師を縁談して身に付

けた知恵を皆さんのために役立てたい、様々な悩みや課題を抱えた中学生時代に少しだけ（私のようにずいぶん）前に経験した人生の先輩としてアドバイスしたい。」との思いでいます。課題の解決、学校生活の悩みの解決に周囲の大人を上手に活用してください。



学校では、先生方以外にも「心の教室相談員」や「スクールカウンセラー」の方々がいらっしゃいます。「心の教室相談員」と話したい生徒は直接、二階会議室隣の相談室を訪ねてください。「スクールカウンセラー」との面談を設定することもできます。保護者の方々でも面談希望のある方は、学校にお話しください。

その三 自分の志の確かさを確認しよう！

自分を高めようとして立てる目標を志と言います。夢に向かって具体的な努力を始めた時、夢は夢でなくなり志へと成長します。あなたの志は、課題や悩みの解決に向かっていますか？

志ある者

- ・明確な目標をもつ者
- ・努力を習慣的に行う者
- ・時間を意識する者
- ・計画を念入りに立てる者
- ・できる方法を考える者
- ・かなえないと強く願う者
- ・新たな挑戦をする者

何度か集会で取り上げましたので、いくつかは聞いたことがあるという人がいてくれるとうれしいです。

「友達」 仲間の役に立つということ

勿論、忙しそうにしている友達を手伝うと言ったこともあるでしょう。しかし、私はあえて皆さんに、二中学生である皆さんに、もっと困難なことを期待しているのです。より多くの仲間が集まる学級での活動、部活動、生徒会活動、学校行事で、自分が所属する集団が決めたゴールや目標のさらに上を行く、仕上がりこだわった一日一日を積み重ねてもらいたいです。



人を大切に思う

どうやっても出来ないことを「出来るようになれ！」というのではありません。皆で決めたあいさつ運動を私は相手に届く声で、私は相手の目を見て、私はおじぎもして、と言った具合です。皆を誘って時間間に合うように外へ出るといふことも仕上がりにはこだわった行動です。あいさつだけではなく、行動の一つ一つに心を込めて、人を粗末にしないと言っています。



後期後半、三年生にとっては能代第二中学校での生活に幕が降ろされる時。二・一年生にとっては学年の締めくくり。自分の成長が自分でも確認できる、この先に待っている生活への自信につながる、そんな後期後半にしたいですね。

さて、「人の助けをもっと借りよう！」ということについては、苦しい状況を長く続けても「我慢強いね。」と誰かが褒めてくれるわけはありません。一刻も早く抜け出すことが何よりも大切なことだと思えます。人生



の先輩からのアドバイスと言ったことであれば、お家の方の一番もたくさんあるのだと思います。一人からのアドバイスにこだわらず、とりあえずは自分でも頑張れそうな、聞いていて「よし！やってみようかな。」と意欲が湧いてくる、そんなアドバイスを自分で選んで頑張ってみましょう。



体調をくずしがちな時期です。健康な体で心も温かに。